



"中1 甲陽学院

1学期中間試験化学では
コラボ生が学校平均点に
+8.7の差をつけました。

化学キラー" 守山が贈る

夏期オプション講座

中1甲陽コンプリート物理化学



中1 甲陽学院化学対策担当 守山 講師

2学期中間 (10月実施) 試験ではこんな問題が出題されます。

中1 甲陽化学2学期中間試験 出題予想

【予想問題】下の表に関して以下の問いに答えよ。

族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	族
1																			1
2																			2
3																			3
4																			4
5																			5
6																			6
7																			7

- この表は元素を何の順に並べたものか。また、この順は原子量の順と必ずしも一致しない。それはどの元素とどの元素の順か。具体例を1つあげよ。
- 次の①、②の元素名と元素記号を答えよ。
① 第5周期第2族元素 ② 第4周期第11族元素
- 以下の名称を答えよ。
① 第1族の第2周期以降 ② 第16族
③ 第18族 ④ 第5～6周期の第8～10族
- 次に当てはまる元素を記号で答えよ。
① 融点が最も低い金属 ② 密度が最大のもの
- 次の各原子の電子配置を記せ。
① K ② 原子番号27番 ③ 原子番号32番

<予想問題の解説>

甲陽中1化学の2学期中間試験は、「原子の構造」「周期表」「電子配置」などが出題されると予想されます。特に周期表に関しては、16族元素の「カルコゲン」や、第5～6周期の第8～10族の「白金族」など、高校生でも知らない知識が問われます。電子配置も普通の高校生でも原子番号20番まで答えられれば十分ですが、甲陽の中1生はより複雑な配置まで学習することでしょう。また、原子の成り立ちとそれが解明されるまでの歴史も出題が予想されます。西暦何年に、誰が、どのような発見をしたのかという内容を穴埋め形式で問われます。授業中に板書されていない内容でも、先生が述べられたことをすべてメモするようにしておきましょう。

ズバリ!! 2学期中間試験化学の学校平均点は**55**点ぐらいでしょう

夏期講習「中1甲陽コンプリート物理化学」の内容は以下の通り

	授業内容 (単元)
1日目	物質の状態と元素
2日目	原子の構造と元素
3日目	周期表と電子配置
4日目	光の反射と屈折
5日目	レンズと屈折

<講座内容>「中1 甲陽コンプリート物理化学」

1学期に学習した範囲の復習と2学期範囲の先取りを行います。特に化学の定期試験では深い知識まで問われ、原理・原則の理解が不可欠です。覚えるべきことと、理解するべきことを明確にし、暗記事項は毎回小テストを実施することで定着を図ります。物理は光の屈折による像のでき方を作図と写像公式を用いた計算によって確認します。

